

### 「トイ☆ホイール」の活動

児童学科 4年 明星 美里、戸ヶ崎 唯代、長 里美

私は児童学を学ぶ4年生です。現在、子どもたちとふれあうサークル活動やボランティア活動など、さまざまなことを体験しています。これらの経験をしていくなかで私の「あったらいいな」を形にしたのが「トイ☆ホイール」の活動です。リヤカーに様々なおもちゃを積み、公園などの広場でお母さんや子どもたちが喜んでもらえるような遊びを提供することができたらいいな、と考えました。



まず、どんな遊びの展開をしたらいいのか、ヒューリップすくすくサロンでアンケート調査をしました。どんな遊びを求めているのか、公園でどんなことができたらいいか...お母さんたちからの生の声を聞くことによってアイデアを具体化することができました。

次に、遊びの実践です。池袋本町プレイパークの方々に協力いただき、実際に公園で手づくりのおもちゃを子どもたちにお披露目しました。おもちゃは、しゃぼん玉、小麦粉風船、動物型に切り抜いたフェルト、バスケットに入れたスカーフなどです。しゃぼん玉液は普通の洗剤以外にも、赤ちゃんの肌にやさしい洗剤を用いたもの2種類を用意しました。これらのおもちゃで私たちは子どもたちに遊び方を教えながら一緒に遊びました。子どもたちはおもちゃを使って、私たちの教えた遊び方の通りに遊んだり、そこから工夫して違う遊び方をしてみたり...思い思いにのびのびと遊んでいました。しかし、小麦粉風船のようなおもちゃは小麦粉だけをまき散らして遊ぶ子どももいたのである程度のルールの必要性も感じました。



今回の実践ではおもちゃを使った遊びを子どもたちに提案しましたが、季節に合わせた遊びや、昔の遊び、また、紙芝居屋さんなど、地域の方々を巻き込んだ遊びを考えていきたいと思いました。ドリームプランで学んだことをベースに、この「トイ☆ホイール」の活動をこれからも一層充実させていきたいと考えています。このような機会をいただき、本当にありがとうございました。